

---

## デジタルパンク通信 第二十六話

---

Q ケータイでしょうか。徴兵制でしょうか。

A 徴兵制です。

元気が出ないわけです。景気わるいし。

そんな中、今年も恒例のイベントin the city japanでは、音楽の未来について語り合いました。私が司会を担当したセッションのテーマは、「日本音楽再生の10大プラン」。

テロから一年。今年はワールドカップ・サッカーが開催されました。決勝は南米と欧州。3位と4位はトルコと韓国。地球にはアメリカだけでない多様な国家やいろいろな人がいることを、改めて見つめることとなったわけです。日本や韓国というアジアが新しい世紀のプラットフォームになれる期待も抱かせてくれました。

じゃあ、われわれ音楽界はどうなんだ。日本サッカー界が世界に示したようなことを日本音楽界はできるのか。日本の音楽に未来はあるのか。ないのか。ビジネスやシステムの問題ではない、何か根本的な転換が必要ではないのか。——それが今年の問いです。

そんなこと言ったってさあ。困っちゃうよね。

そこで私は、10個の案を考えました。音楽界を再生させるための提案を。

- 1ケータイ禁止
- 2子どものおこづかい倍増
- 3音楽の授業を十倍増(小学生ソナチネ義務化)
- 4CDのねだん半額化
- 5著作権法廃止
- 6洋楽禁止(あるいは英語の国語化)
- 7業界の社長全員パージ
- 8マリファナ解禁
- 9徴兵制復活
- 音楽省の設置(副総理格)

これらを束ねて音楽再生法を臨時国会で成立させる。まじめでしょ。賛成？ 反対？ 議論の結果は、まあ特効薬はないよね、でしたけど。

元気だしましょう。

---